



# お ち ほ

第 53号 平成 17年 10月 9日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 山下 陽一

## 椎の木会 理事長就任 御挨拶



理事長 高井 正義

このたび、増田前理事長の退任に伴いまして、後任を引き継ぐことになりました。

増田前理事長は落穂寮長を経て椎の木会理事長に就任され、四十年に亘って椎の木会関係の施設経営に専念され、杉山寮の創設等多大な業績を残してこられました。

その後任として、浅学非才な私といたしましては大

変重責な役務であると、痛感しております。

椎の木会関係の役員方をはじめ、職員ならびに保護者の皆さま方のご支援を受け、懸命に取りくんדםまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今、行政改革が進められるなかで福祉の諸施策が大きく見直され、施設福祉に対する価値観にも変

化が著しく見られ、この人たちに對する認識も大世帯の施設で生活するのではなく、一般社会の中で普通の当り前の社会人として、小グループで生活することが求められています。

福祉施設に於ても、この時代の流れに乗り遅れることは出来ません。地域における福祉サービスの推進にいかん援助し協力出来るかが大きな課題となります。

また、施設自身も従来から蓄積してきたノウハウに研きをかけて利用者のニーズに應えるべく更なる努力が大切ではないかと思っております。法人と職員が一体となって地域への貢献および利用者に対する処遇の向上に努めてまいりたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

**地域における福祉サービスと利用者のニーズに応えられる機能の向上を！**

# ふくむ今昔

## 有難う

増田 正司

椎の木会理事長退任御挨拶

昭和24年、近江学園で福祉の仕事に入ってから以来56年間、人生の大半をただ一筋に施設福祉事業の現場で過ごすことができたことはとても有難い事でした。

この度の法人役員改選で理事長職を退任し、運営の前線から退き今後はいわば相談役としてお手伝いできればと考えています。

昭和32年、糸賀先生に請われ落穂寮に赴任し、寮長の斉藤のおばあちゃんのもと家族的な雰囲気ただようなかで熱烈力闘し、施設再生に汗を流した大津市南郷の地での歩みを全職員一丸となつて続けた日々が思いだされます。「愚公山を移す」が如く山を削り敷地を確保し、宿舎、作業場、機械室、鶏舎、訓練室等々の建設敷地を造成、また建設していきました。現状の乏しさに停滞せず、解決に知恵と力を結集し、新たな展開に向かって協力挑戦する職員と児童の姿に逞しい伊吹を感じる事ができました。その一員であることに誇りを持ち、喜びをかみしめ又元気が湧き出したものでした。時に激しい苛立ちが波打つとき、人生の深みを歩かれたおばあちゃんの優しさに解きほぐされ、折節に営まれる親の集いや、お楽しみみの行

事や、お助けくださる奉仕団、来訪者、見学者、物品納入業者等の出入り営みと交流が、すべて寮の生活を創造し活性化していきました。

13人の児童で出発した寮の所帯が昭和45年現在地に移転する時には、70人の寮生と20人余の職員の所帯に膨れあがっていました。更に発展するため新たな地に展開することになり、移転の計画が進められました。

石部の敷地も荒削りのまま与えられた新天地、南郷で鍛えられた馬力が発揮され、10年間は建設、造成の連続でした。職員も寮生も保護者も力合わせ快適な生活体づくりに全力投球して立ち向かいました。

寮長・理事長という役目柄、いつも先頭に立つて行動すべきと考えていました。号令し、引き回しの役目にまい進しましたが、ただ一念職員と寮生にとってここの生活が希望あるもの、生き甲斐を感じるものに仕上げたいと。

結果、つらい思いに傷ついた多くの人にはお詫びいたします、落穂寮創設の願いは寮生の幸せつくりです、今後ともますますの奮闘を祈ってやみません。

# ふくむ今昔

# らくだの涙

寮長 山下陽一

「子どもたちは、いま

先日、神戸の美術館でシルクロード展をのぞいてきました。そのなかで強く印象付けられたものの一つに、五センチ程の小さな嬰兒のミイラがガラスケースに収められていました。その埋葬された装束をみると、深々と帽子を被り、厚手の布にくるまれ、丁寧に枕を当てられて、朱と青の布を寄り合わせた紐で結ばれていました。亡くなったことも暖かい家族のなかで大切に育てられていたのでしょうか。

ひるがえり、今の子どもたちはどうでしょうか。報道によると、夜半の繁華街を7歳の男の子が血を流しながら徘徊しているのを警察が保護しました。児童の福祉は親の虐待からこの子を保護できなかった様子です。

らくだの涙

2004年8月メジャーの映画館にはかかりませんが、心の琴線に触れるドキュメンタリー映画「らくだの涙」が上映されました。

モンゴル南部、ゴビ砂漠に住む遊牧

民の家族が、らくだ、やぎ、羊などを飼育して生活していました。

繁殖の時期のおわりごろ、一頭の母らくだが二日がかかりの大変な難産で、白い子らくだを生み落としました。飼育する家族は子らくだを母らくだに見せようとすると、歯をむき出して拒否しようとしめます。家族は生まれたての子らくだを母らくだの下にまわして、授乳させようとするのですが、母らくだは飲ませようとしません。わずかの羊の乳を与えても満足するはずはなく、母らくだは離れたところにいながら、「おっぱいはしいよー」と悲しげに鳴いています。足を縛った紐を解かれた子らくだは母らくだを追うのですが、母らくだは歯をむき出して子らくだを威嚇するのです。その白い子らくだの顔の表情をつぶさに追っているカメラワークに、あどけない眼差しとかわいらしい口元に、らくだはこんなにかわいい表情をしているのかと思ひ直したほどでした。

スーフの儀式

母らくだが授乳せず、一向に母子関

係が改善しないので、家族たちはこのような時、昔から行われている儀式を行うことになりました。

多くの小学校の国語の教科書に取り上げられている「スーホの白い馬」に登場する、「馬頭琴（ばとうきん）」が使われていました。これは、今でいう「音楽療法」ともいえるものでしょう。

町に住む馬頭琴の演奏家がらくだの母子関係の治療にやってきました。青いリボンの結ばれている馬頭琴をらくだにかけます。家族の若い母親は母らくだをやさしく撫でながらおだやかに哀調を帯びた歌を唱い始めました。演奏家はその歌に合わせながら馬頭琴を演奏します。若い母親は怯えるように鳴く子らくだを苛立っている母らくだに近づけます。母らくだを撫でながら唱い、馬頭琴の演奏が続くうちにやがて子らくだに乳を与えます。そのとき、なんと、母らくだの目から大粒の涙が次から次へと滴り落ちてくるのです。それを見守っていた家族たちも眼をしばたいています。

あれほど子らくだを拒否した母らくだの穏やかな鳴き声は、子らくだと共に寄り添い、その様子はゴビの雄大な自然のなかの牧歌となって流れています。

いまを振り返る

親の、幼い子への体罰、子育て拒否

が大きな社会問題となっている今日、このドキュメンタリー映画が私たちを大いに感動させるのはなぜでしょう。冒頭に挙げた幼児虐待は決して特異な事件ではない、と児童福祉に関係している小児科医、保健師、ケースワーカーなどが発言しています。

生まれた子どもたちにとって、一番大切な時期に最も必要としているものを提供できているのだろうか考えたとき、果たして自信をもつてうなづくことができるでしょうか。

たしかに、「子育ては社会の責任」という考え方はあります。しかし、家族で育てるというのは、人が地上に生まれて永々として営まれてきたことでありながら、ジェンダーの壁を取り払うという世界的な課題の前に子育てが無難作に扱われているところがありはしないのか。子育てのさまざまな要素を考えると、数十万年対数十年の比を乗り越える重大性の克服ができるのだろうかと思っています。

子どもが生まれて数年のあどけない様子に、大変だけれども、こどもとのやり取りの一番の「うまみ」を資格者というだけの職業人にさらわれていってしまうのは、なんとも口惜しい話ではありませんか。

(二〇〇五・八・三)

▼暑いけど、がんばるぞ！

**竹(外)班**  
竹(外)班は男子寮生3名・女子寮生2名で一緒に活動をしています。主に天気の良い日は、グラウンドへ出て草引きをしています。時々、BGMに合わせて歌をうたっていたり、お話に夢中になっていた手止まる事もあります(笑)。雨の日は造形。皆さん絵が大好きで、1日の日課でクレヨンが半分減る事も日常茶飯事です(笑)。



▼これぞ！職人技。



**杉の子班**  
杉の子日課と一言でいっても、曜日によって色々な事をやっています。粘土では自分流の作品作りを、紙作りでは牛乳パックを使い、ビニール割し、紙切り、紙糊に分かれ紙の再生を、マイクロバス歩行では花緑公園まで行き園内歩行、外作業では寮内の環境整備を。といった感じで、日々がらばって取り組んでいます。



▶音楽療法中、

## 日課紹介

いつもお話を聞いている方々、行事に際しては皆さまでお知恵をいただきありがとうございます。毎日の生活が楽しくて、いろいろな活動ができています。月曜日から金曜日まで活動しています。日曜日は休んでいます。紹介したいと思っています。

**竹(中)班**  
竹(中)班は男子寮生3名・女子寮生3名で活動しています。主な活動は織り物です。平織り、結び織りの2つの織り方があり、それぞれ自分のペースに合わせて取り組まれています。音楽好きの寮生さんが多いので、時にはみんなで歌を歌ったり、天気の悪い日は造形をしては玄関前に展示したりしています。



ています。



梅班

梅班では10年以上前から街整理(空き缶つぼみ)をメインの取り組みとして活動しています。男性7名、女性6名の総勢13名と大所帯の梅班では、倉庫へ缶を運ぶ方、然々と缶をつぶす方、職員と共に取り組む方等、取り組み方はそれぞれですが、日々それぞれのペースでがんばって取り組んでおられます。



▲ピッカピカになあれ

**あすなろ班**  
男性陣4名、女性陣2名の計6名のあすなろ班。午前中は片棟・女子棟の浴室掃除、そして午後からは歩行・出たり、造形に取り組んだり、明るく元気なモットーに日々活動しています。まだまだ不慣れた職員(私は、あすなろ寮生さん達に日々助けられている、といった感じです。これから私を支えてくださいな)。

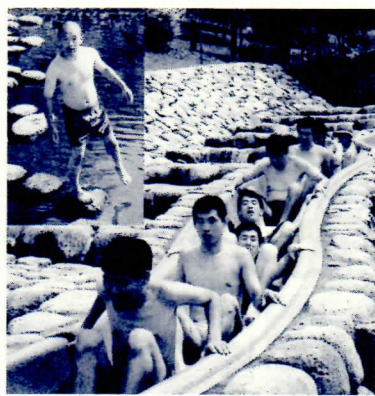


## 男子棟飯盒炊さん



☀️晴れっ☀️そう、今年の男子棟飯盒炊さんは本当によいお天気となりました。昨年は台風による川の増水の為、急きょ寮内で行うことになり、しかも今年も台風の影がチラホラ：「もしや、今年も寮内！？」と職員は気が気ではありませんでした。お天気の神様に感謝☆感謝です。

行き先の高間みずべ公園には長い滑り台あったのですが、皆さん滑る滑る：。しかし、その滑り台はコツがある様で、下まで上手に滑って行かれる方、半分歩く様な状態で下まで滑っていか



れる方と様々でした。そんなこんな、ひと遊びした後に待っていたモノ。それは美味しいゴハンです。焼肉、焼野菜、焼ソバ、おにぎり、キムチと焼いても焼いてもすぐになくなっていつてしまいました。外で、なおかつ皆で食べるご飯ってなんであんなに美味しいのでしょね⑤格別です。

サンサンと照る太陽の下、川遊びを楽しみ、食事を楽しんだこの日の帰りは、寮生さんも職員も、楽しみ疲れ、でウトウト：。来年も是非、お天気の神様には味方していただきたい、そう心から願います。



## 女子棟飯盒炊さん

女子棟では今年も7月の終わりに飯盒炊さんへ行ってきました。場所は恒例となった甲賀市の高間みずべ公園。今年から一応、市内となりましたが、山の中の水と緑がとてもきれいな公園です。一足先に準備していた職員に続いて寮生さん達も到着。昼食までの間、川で水遊びをすることになりました。この公園は川で遊びやすいよう整備されており、名物は何といっても総石造りの水の流れるすべり台。まるでウォータースライダーのよう。寮生さんも次々とチャレンジ、笑いながら滑り下るひと、恐怖で表情が引きつってしまふ人、怖くも楽しくもないのかたまた黙々と滑る人：寮のプールとはまた違った雰囲気味わってもらえたのではないのでしょうか？さあ体を十分に動かした後はお楽しみのお昼ごはん、今年はいつものバーベキューにきのこのホイール焼きや椎茸のマヨネーズ焼きなども加わり食べごたえ十分。焼き上がっ



た頃から寮生さんの胃の中へ消えていくのでした。暑い夏の始まりの1日でしたがこれだけ元気なら今年の夏も十分乗り切っていけるだろうと確信する職員達でした。さて、来年の飯盒炊さんは？うーん、またこの高間みずべ公園になりそうです。



# ☆七夕フェスティバル☆

7月10日の夜、新人による七夕フェスティバルがありました。「悪い心、飛んでいけビューン!!」新人と寮の皆さんが力を合わせて悪い心を吹き飛ばしたシーンです。良い心を取り戻した悪者(荒木)と、正義の味方(竹田・寺井)は仲間になり、落穂寮の幸せを願うオチホレンジャー



新人トリオ オチホレンジャー誕生!!

ーになるというお話。ダンスや手遊びを入れ、アンパンマンのサンサン体操の時には、寮生さんも一緒になつてステージで踊りました。ピョンピョンと跳ねる人、ステージをウロウロと歩き回る人、左右に体を揺らす人などそれぞれが思うように楽しみ、ニコニコとたくさん笑顔が溢れてとても盛り上がりました。

ステージ脇には、二本の大きな笹がたくさん短冊をまわつていました。見てみると、素敵な絵や願い事が書かれていて、中には、ここ数日雨の日が続いていたのを気にされたのか「はれ」と大きく書いておられる寮生さんもおられました。どうか皆さんの願い事が叶いますように☆そして健康で幸せな一年が出来ますように☆



## みんな歌、うまいな〜

8月22日、夏の終わりに、落穂寮では恒例の地蔵盆・納涼祭を行いました。今年は残念ながら、夕立ちなどの天候不良を考え、外では出来ませんでした。

地蔵盆は各棟、それぞれのクラス代表一名が参加。行けなかった人の分まで、しっかりやつてもらいました。

納涼祭は食堂で行いました。お祭りらしくメニューもお好み焼、かき氷などの特別メニュー。そして今回、初めての試み。カラオケコーナーを作りました。曲目もしつかり選べ、



▲クラス代表でお参りました。



▲熱唱しています

マイクも二本、デュエットもできる本格派!音楽が好きな寮生さんはマイクを持つて熱唱!ここで驚いたのが、歌い終わると採点するのですが、みなさん、70〜80点台と高得点続出!職員も歌って良いのですが、寮生さんの高得点に職員は皆、自信がないのか誰も行けず(少なくとも私は行けませんでした...)最後に寮長が歌い、最高得点を出して大興奮の中、終了しました。

最後は天気ももつたので花火をして一日終わりました。

しかし皆、歌が上手い!私は来年の為に今からカラオケBOXに行つて練習しておきます。



▲屋台メニュー  
おいし〜♡

# 石部中学校 ふれあい交流会

★マンモス国王のみねさんへ★

今日は落穂寮を見学させていただきありがとうございました。

おかげでいろいろなことがやりました。最初は結構、忙しいかな  
分からは、落婦の人もおはしてはいたけれど、なれてくると世間でこれな  
がたの世間ではなれて帰りがたかなと思て落婦の人たちにもいじかな  
思いました。でもとても思っている人達だ。10月10日に行くのがた  
のみです。今回はいろいろな人達とお話ができ、きいたのが少なかった  
ので、10月10日まで、とてもたくさんのお話はなしにする

よう が"のほ"ります。

あいはた ちか



今年も七月四日に二十名の中学一年生がふれあい交流に来て下さいました。当日は生憎の雨模様で外での活動はできませんでしたが、室内でも楽しくふれあつていただけようです。

昨年とはひと味違った雰囲気職員からも楽しかったという感想が聞かれ、生徒さんの明るさや積極性が伺われました。十一月にある二回目の交流も楽しみにしています。

♪ あまなろ班のみなさんへ ♪

自分は、平日よりかなり緊張しました！ 新入り、高年の方の皆さんに  
 と話せなくてできなかった、が、いねい！です。今度は自分から話したいと思  
 います。！ 高年の方の皆さんは、明るくいてすごいです。今度はまた、その明るさを  
 受けたいように明るく笑顔に話したいと思います。！ それから、風呂とび、今には  
 て下りい。私は、担当の先生(母)に手伝ってもらって話しました。なので、自分から  
 は話せませんでした。でも話したら、楽しかったなあと、思いました。なので、話した  
 らおつたなあと、思いました。！ ！ ！ 今日できなかったことは、また今度は  
 ！は！するで、どうぞ、よろしくお願ひします。今日は本当にありが  
 たいでした。！今度は自分から話したいと思ひます。

遠藤 末夏

Thank you♡

かがしー 到王のみなさんへ  
7月4日の交流ありがとうございました。  
あいにくの雨で散歩は出来ませんでした。が、  
部屋の中での交流でも持たずさんがハースが  
楽しかったです。でも予想以上にきつかったです。  
次行ときは晴れて歩行練習が出来たらいいな  
と思います。秋の交流を楽しみにしています。

堀井秀樹より



泉

▽衆議院の解散により、今国会で提出された『障害者自立支援給付法案』が廃案になりました。現在、福祉を取り巻く環境のみならず、国民全ての生きる環境が大きく変化しようとしています。しかし、私達の目の前にいる人達は驚くほど、何の変化もありません。『生きる』ということを他人に頼らなくてもはならない彼等には、どうすることもできないのです。私達職員は、『生きる』援助をするだけではなく、その上にある『生活の質』も彼等に援助していく必要があると思います。次の国会で出される自立支援給付法案が『質』を保障したものになるよう働きかけたいかなければ...と思います。

木 こと  
言 こと

『ありがとう』

そのひとことで人はまた頑張ることができる。

言葉を知らなくても、声が出せなくても、見えないところで、聞こえないところで、ちゃんと表現しているのです。

聞いて下さい。

聞こうとしてください。

その、やさしい心で。